



～早期発見・早期治療～

大腸がん検診を 受けましょう

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220

大腸がんは、40 歳くらいからかかる人が増え、女性のがん死亡原因の 1 位、男性では 2 位です。全国で年間 5 万人以上の方が亡くなっています。(2023 年)

※データの出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)
大切な命を守るため、ぜひこの機会にがん検診を受けましょう。

大腸がん検診の目的

症状がない段階で大腸がんの疑いを見つけ出すことが目的です。大腸がんは、初期ではほとんど自覚症状がありません。早期発見、治療で大切な命を守るために、がん検診は必ず、毎年繰り返し受けてください。

大腸がん検診はどんな検査をするの？

便潜血検査です。自宅で 2 日分の便をとるだけの簡単な検査で、痛みも食事制限もありません。便に血液が含まれているかを調べて、大腸がんの疑いを見つけます。

大腸がん検診の受け方

安来市では市内にお住まいの 40 歳以上の方が対象です。受診券はありませんので、6～2 月の間に受けましょう。

①受診する方法を選ぶ

○集団検診

各交流センターや各庁舎などで採便容器を受け取り、検診日に提出します。

○個別検診

個別検診を実施する医療機関で採便容器を受け取り、医療機関へ提出します。

詳しい日程や実施医療機関は「健診のしおり」またはホームページ(右 2 次元コード)を確認してください。



②便を 2 日分とり提出する

提出までは冷暗所で保管しましょう。

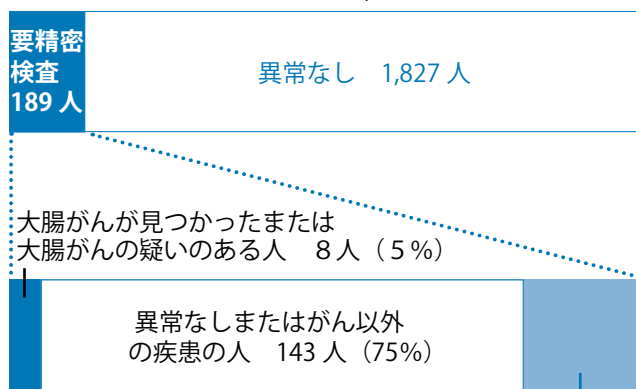
③結果通知を確認

結果は必ず確認してください。

安来市の大腸がん検診の状況

(令和 5 年度の大腸がん検診受診状況)

大腸がん検診を受けた人 2,016 人の内



精密検査を受けていないまたは把握ができない人 38 人 (20%)

精密検査が必要な人の内、20% (5 人に 1 人) が精密検査を受けていません。他のがん検診と比べて精密検査を受ける人の割合が低いです。

精密検査受診率
(令和 5 年度)

大腸がん検診	80%
胃がん検診	95%
乳がん検診	96%

精密検査を受けましょう

要精密検査となった場合は必ず検査を受けてください。精密検査の第一選択は、全大腸内視鏡検査(大腸カメラ)です。

気になる症状があればすぐに医療機関へ

便に血が混じる・付着する、急に便の太さが変わった、便秘と下痢をくり返す、腹痛や腹部のしこりがあるなど、気になる症状がある場合は、検診を待たず、すぐに医療機関を受診しましょう。

